

NMFの流出を抑制する「アミノ酸系モイストキープ洗浄成分」を開発

開発にあたっては、まず洗顔料に用いられる複数の洗浄成分について、肌からのNMFの溶出試験を行い、比較検討を行いました。

その結果、**図1**の通り、アミノ酸系洗浄成分が、NMFの溶出を抑制することが分かりました。

図1 NMF溶出量（各種洗浄成分）

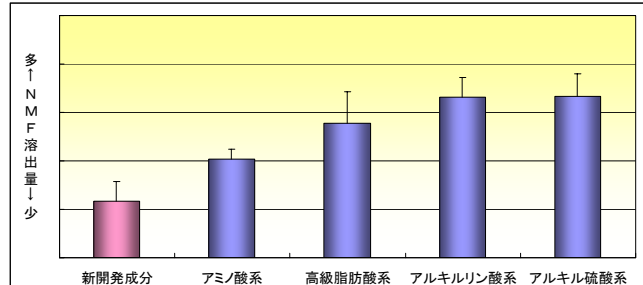
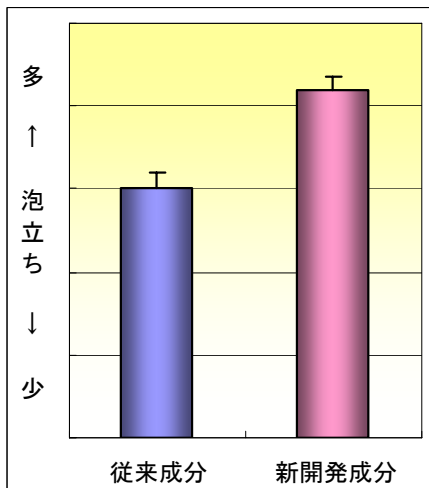


図2 泡立ち（従来成分との比較）



先に触れた通り、当社では従来より肌にやさしいアミノ酸系洗浄成分（アシルグルタミン酸ナトリウム）を洗顔料に配合していますが、アミノ酸系洗浄成分の中でも、よりNMFの溶出が少なく、しかも洗浄性・使用性や泡立ちの良い洗浄成分の研究開発を進めて参りました。

その結果、洗浄成分中の脂肪酸の構造がこれらの機能に大きく影響することが分かり、「ヤシ脂肪酸」「パーム脂肪酸」「ヒマワリ脂肪酸」を独自の比率で混合し、グルタミン酸に組み合わせた新規アミノ酸系洗浄成分が、当社が従来より製品に配合している成分に比べて、NMFの溶出を有意に抑制し、洗浄性・使用性や泡立ちに優れることが分かりました（**図1・2**）。

当社ではこの新しく開発した洗浄成分を「アミノ酸系モイストキープ洗浄成分」と命名し、特許を出願致しました。新成分は①肌を守るNMFが流れにくい②洗い上がりの肌が乾燥しにくい③泡立ちが良い④洗い上がりがしっとりつるつる——などの特徴があることが、総合研究所の実験などで分かっています。

日本化粧品技術者会で発表、今夏に新製品を発売へ

ファンケル総合研究所では、この研究成果を本年6月18日に大阪市で開かれる「第62回日本化粧品技術者会（SCCJ）研究討論会」で「泡物性および洗浄性能に優れたアシルグルタミン酸塩の開発」の演題で発表いたします。また、今夏に新開発した洗浄成分を配合した製品を発売する予定です。



ファンケルでは、洗顔をスキンケアの第一歩と考えています。その第一歩である洗顔について、常に「理想の洗顔とは？」や「理想の洗い上がりとは？」を追い続け、研究開発をしています。

今回、更なる「理想の洗顔」を実現すべく、洗浄成分の開発から着手しました。この新規アシルグルタミン酸塩は、試行錯誤を繰り返して開発した、我々の自信作の1つとも言えるべき洗浄成分であると考えています。

実は、入社時、まさか自分が洗浄製品の開発を行うとは考えても見ませんでした。しかし、興味を持ったきっかけは、敏感肌の身内がいることでした。敏感肌の方にも、安心して使用できる洗浄製品はできないかと、日々研究開発を重ねるにつれ、「洗浄」や「その奥深さ」に興味を持つようになりました。これからも、敏感肌の方にも安心して使用できる製品の開発や、「理想の洗顔」「理想の洗い上がり」の更なる追求について、取り組んでいきたいと考えています。

株式会社ファンケル 総合研究所 化粧品研究所

スキンケア開発第一グループ グループマネージャー 今須 寿晃

(プロフィール)

1970年 山口県生まれ 1994年 山口大学農学部農芸化学科卒業後、同年(株)ファンケルに入社。入社後、洗浄をメインとする製品開発・研究に携わる。